

## 海上の杜技術士会 第14回 技術研修会 次第

(平成 30 年 5 月 19 日 於:愛知県産業労働センター ウインクあいち 11 階 1102 会議室)

13:30～ 受付開始(会場の都合により受付開始までは、1102 会議室  
周辺での待機はご遠慮下さい)

13:45～13:50 開会あいさつ 玉木 伸秀 会員 (S49 卒)

13:50～15:20 基 調 講 演  
演 題 AIT 大型振動台実験の紹介  
講 師 奥村 哲夫 先生  
所 属 愛知工業大学工学部土木工学科 教授

15:20～15:30 質 疑 応 答

15:30～15:40 休 憇

15:40～16:40 講 演  
演 題 私が実感する循環資源の利活用における  
現状と課題  
講 師 西川 美穂 特別会員  
所 属 一般社団法人泥土リサイクル協会  
コミュニケーションズマネージャー

16:40～16:50 質 疑 応 答

16:50～ 17:00 理事あいさつ 山里 剛史 会員 (S54 卒)

※受付は13:30～となります。

※13:00～ 13:30まで「海上の杜技術士会 第 8 回総会」となります。

※土木学会継続教育プログラム(認定番号 JSCE18-0256:3.2 単位)



# 基調講演

## AIT 大型振動台実験の紹介

講演者 奥村 哲夫 先生

### (1) 講演要旨

1974年1月、本学に設置された振動台実験装置(6×11m、最大搭載荷重150t)を用いてフィルダム模型、木造戸建て住宅、石油タンク模型の振動実験が行われた。ここでは、これら構造物の動的挙動を調べた結果を示すとともに、今後30年以内の発生確率が70~80%と公表されている南海トラフ巨大地震(M8~9)に対応する場合に参考となる事項等を紹介する。

### (2) 講師 Profile

氏名: 奥村 哲夫(おくむら てつお)

職歴等: 昭和46年4月 愛知工業大学工学部土木工学科 助手  
昭和54年4月 愛知工業大学工学部土木工学科 講師  
平成3年4月 愛知工業大学工学部土木工学科 助教授  
平成11年4月 愛知工業大学工学部土木工学科 教授  
平成16年4月 愛知工業大学工学部都市環境学科 教授  
平成27年4月 愛知工業大学工学部土木工学科 教授  
現在に至る

委員等経歴: (公社)地盤工学会中部支部 幹事、幹事長、評議員  
(公社)地盤工学会 支部監事、代議員

著作・論文:  
・フィルダムの耐震設計に関する基礎的研究、土木学会論文集  
・低拘束圧下における砂質土の動的変形特性、土木学会論文集  
・スロッシング発生時の貯槽浮屋根挙動の一考察  
—Φ4000タンクモデルでの振動実験—、土木学会論文集  
・Side Friction Effects in Centrifuge Model Tests, Proc. of the Int. Conf. Centrifuge 94  
・Behavior of Seepage Flow in Embankments Developed by Rainfall, Int. Conf. on Geotechnical and Geological Engineering (Geoeng 2000)ほか

# 講 演

## 私が実感する循環資源の利活用における 現状と課題

講演者 西川 美穂 特別会員

### (1) 講演要旨

循環型社会形成推進基本法において循環資源とは、廃棄物等のうち有用なものをいう。循環資源については、その処分の量を減らすことにより環境への負荷を低減する必要があることに鑑み、できる限り循環的な利用が行われなければならず、循環資源の循環的な利用及び処分に当たっては、環境の保全上の支障が生じないように適正に行われなければならないとされている。

一方、建設業においては、資源の有効な利用を確保する観点から、建設工事に伴って廃棄されるコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材の建設廃棄物について再資源化を行い、再び利用していくため、建設リサイクル法に基づいてその利用が促進されている。

本協会では、リサイクル面で立ち後れていた建設汚泥のリサイクルに加え、浚渫土砂や災害堆積土砂等の高含水泥土の有効利用の促進、更には、産業廃棄物である石炭灰、製紙スラッジ灰、鉄鋼スラグ、廃石膏ボード等の循環資源を固化材等に有効活用するため、会員企業が保有する技術の革新や生産・製造等の企業間連携の実現を目指して活動している。

そこで本講演では、その活動を通じて実感している循環資源の利活用の現状と課題について述べる。

### (2) 講師 Profile

氏 名:西川 美穂 (にしかわ みほ)

職 歴 等:平成 18 年 3 月 泥土リサイクル協会

平成 22 年 2 月 一般社団法人泥土リサイクル協会

平成 25 年 7 月 ニューワンコミュニケーションズマネージャー  
現在に至る

資 格:VE リーダー、環境管理士、eco 検定、ほか

著作・論文:  
・廃セッコウボードから分離したセッコウ粉の固化材への利活用の  
課題、無機マテリアル学会論文集  
・再生石膏粉の利活用と社会実装、INDUST 特集  
・再生石膏粉の有効利用ガイドライン(試行版)、独立行政法人環境再生保全機構平成 29 年度環境研究総合推進費、(課題番号 3-1702) 廃石膏ボードリサイクルの品質管理の在り方と社会実装 ほか